

初日、11時スタートの第1レースに向かって各艇出艇するが、レース海面では風が落ち、不安定な状況、40分の風待ち後によりやくスタート。第1レースはGaiaが着順・修正ともに1位。その後の風は続かず、陸上待機を挟んで16時10分によりやく第2レースのスタート。風は少し上がり8kt~10kt、やはり強弱が多い海面。Natsukoが堅実な走りを見せ修正1位。初日は2レースのみの消化となりました。

2日目のショートディスタンス。出艇後に風は次第に消え、第1マークとなる立馬崎は鏡のような海面が継続、あえなくノーレース。

最終日、北西の風で定刻通り始まった第3レースはタクティカルな海面、Natsuko、GRAN desseの(X-35)勢がトップを争い、Natsukoが前でフィニッシュ。

第4レースは蒲郡の夏の定番、南西の風にシフトしながら安定した風でした。カットレースが成立する第5レースもトップを取ったNatsukoは、第6レースを残して総合優勝・Bクラス優勝を決め一足先にハーバーへ。AクラスはGaiaが優勝が確定しました。

最終第6レースは最大16ktの安定した風の中、propagandaが快走し、コリンシアンクラスの優勝を決めました。WINDWORD VとAPHROSのCクラス決戦は最終レースでAPHROSが優勝を決め、Cクラス3位には地元のSUPERWAVE VIが入賞、2023年の全日本ミドルボート選手権の幕を閉じました。

